

中学校 第3学年 国語科学習指導案

(内容) 第3学年 『おくのほそ道』を読んで紀行文を書こう (7/7時間)

(目標) 紀行文を読み合う活動で、一人一人が創作した紀行文を創作の視点に沿って批判的に読んで吟味し意見交流することを通して、考えを広げたり深めたりして自分の意見をもつことができる。

過程	学習活動	指導上の留意点	機器等の活用場面
導入 7分	1. 前時までを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 前時に創作した紀行文の創作の視点を問い、全体で共有する。 紀行文の例と創作の視点を提示して自分の下書きを評価するよう促し、学習の見通しを持つことができるようにする。 	Google ドライブ [教材提示]
	2. 本時の課題を見出す。		
<p>めあて：お互いの紀行文を創作の視点に沿って読み合い、気付いたことを交流しよう。</p>			
展開 38分	3. 共有ドライブを開いて、お互いの下書きを読み合い、コメントを書き入れる。	<ul style="list-style-type: none"> 創作の視点で吟味し、視点が表れている部分や表せそうな部分に線を引いて「何が表現されていると感じるか」「こう表現してはどうか」といったコメントを書き入れるよう指示する。 多くのコメントをもらったり書いたりできるように、同じ班のメンバーのシートに書き終えてから、他班の下書きに取り組むよう指示する。 共有ドライブでそれぞれがコメントを書き入れる状況を見取る。その中で参考となる下書きやコメントを抽出し、活動の途中で全体に紹介する。 学習が滞っている生徒には、文章の一部と創作の視点に着目させ、「ここに、この視点が表現されていると思うか」と具体的に問いイメージできるようにする。 	Google ドライブ Google ドキュメント [書く作業の効率化・時間短縮] [生徒全員による意見交流の場の保障と効率化]
	4. 自分の下書きに書かれたコメントを読み、推敲しながら清書する。		
終末 5分	5. お互いの紀行文を吟味した感想を出し合い、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 創作の視点に沿ってお互いの紀行文を吟味しながら気付いたことや、第1時に創作した俳句と比較して気付いたこと等を出し合うよう促す。 	
	<p>まとめ：「おくのほそ道」や仲間の紀行文を読むことで、社会や人間、自然についての考えを広げたり深めたりして、自分の意見をもつことができた。</p>		
	6. 自己評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの視点を示し、自身の変容を自覚できるようにする。 	